

課題を克服し次戦に活かす積み重ねが野球を楽しむことに...

実戦経験を積む11月

橘定スポーツ BaseBall

なやめり

試合だからこそ練習の成果も克服したい課題も明確になる

手忘えと課題

打席や塁上や守備位置で自身の中で課題に感じたら顧問や仲間と...

部員は九人に満たないが、OBやOG、顧問をはじめ橘定の先生方にも力をかりながら十一月は実戦経験を積み重ねが続き、力を試すのは楽しみでもあり大事な機会。その機会を自身の成長の場にできるかどうかは自分次第。野球の技術はもちろんだが、様々な試合状況の中で、自分の持ち味をどう発揮するか、仲間のために自分に何ができるのかを考え、実行しようとする姿勢を期待したい。その成長こそが、技術もチーム力も必ず高めることにつながる。代々の卒業部員がそのことを証明してくれている...



右中間への適時二塁打！
投打でチームを牽引

○1 試合目		○2 試合目	
日マ輝	0000000000	橘 定	61018
橘 定	0000000000	日マ輝	51006 (時間切れ)

一試合目は、吉田侑生が初めて一試合7イニングを完投し、二けたの三振を奪う力強い投球を見せた。ピンチを迎えてもコーナーをつくりキレのあるストレートで三振を奪う投球は、チームにとっても手応えを感じるものとなった。攻撃面では、間瀬智紘が、練習通りコンバクトにバットを振り抜き、鋭い打球のヒットを打ち、出塁することで走塁面での課題も見えるなど、試合だからこそ明確になるものか、間瀬だけでなく、それぞれの部員に見ることができた。

打席で、塁上で、守備位置で、それぞれ自分自身の中で課題に感じたものがたくさんあったと思う。一つずつで良いので、顧問や仲間の部員と確認しながら克服し、次戦に活かして欲しい。この積み重ねが野球を楽しむことに繋がり、楽しめれば必ず上手くなれる...

二試合目は、袴田羽が初登板。大石は引退だが、今のチームの中で袴田はこれからは投げる機会が続き、一投げることは、投手だけでなく、全てのポジションの練習にも必ずつながる...

高校生との対戦は秋季県大会以来のこと。OBや顧問が入っても試合をしていただけに感謝している。この日は市営小田球場を四時間を確保することができ、ダブルヘッダーとなった。二試合目は時間切れとなったが、1イニングの実戦は、橘定の部員にとって、練習してきたことへの手応えを感じたり、課題を実感したり、貴重な機会となった。

11月11日(土)はクラーク記念国際高校OBチームとの練習試合を予定している。11時00分までに市営大師球場に集合。12時~14時までグラウンドを使用。
25日(土)は高津高校で公式行事の「技術講習会」となることは伝えてあるが、新たに23日(祝)12時~16時に、市営桜川球場でOB戦を予定している。



練習通り
コンバクトに振り抜いた
バットから、鋭い打球の
ヒットが生まれる

間瀬智紘主将(2年)



現役を引退した後も
練習でも試合でも後輩を
支え続ける

大石優希(4年)



人生初めての試合での初打席
ファーストストライクを
フルスイング

牧田風世(3年)



初先発
したマウンド
緊張の中の全力投球は
これからにつながる...

袴田羽(1年)



キレのある
力強いストレートと
制球力のある
変化球で
二けた奪三振
7回を完封

吉田侑生(2年)

課題や目標を伝え合い実戦に

互いにプレーの意図や成長を共有し合えることは大切…

橘定スポーツ BaseBall

はろでり

皆の野球に
取り組む姿勢を
応援し支えてくれる人は
たくさんいる。

クレーン 212 020 075 0 19
橘 定 002 112 500 0 17

深い左中間のフェンスまであと少しという
特大のタイムリー2ベースヒットが
チームを勢いづける

吉田侑生(2年)

令和5年11月11日(土) 市営大師球場

橘定野球部

- 1 間瀬智 ⑧
- 2 袴田羽 ⑨
- 3 吉田侑生 ③
- 4 大野井 ⑦
- 5 平野 ⑥
- 6 田中先生 ②
- 7 林先 ④
- 8 田中先生 ⑤
- 9 吉田 ①

11日土曜日の練習試合は、体調不良と怪我で参加できない部員がいたため、現役部員は三名だった。一週間前の試合も減益は五名。現在部員は六名でもともと練習試合を行える状況ではない中、それでも練習試合ができるのは大きく二つの理由があり、部員がそのことを理解してプレーしていることも伝わってくる。

定通制野球の練習試合の相手はなかなかない。それでも、ここ五年間は、年間二十から三十試合の実戦経験を積むことを目標に実践してきた。その中で、強いつきも弱いつきも、試合

現在部員は六名で練習試合を行える状況ではない中…
OBやOG、教員が入っても試合をしていただけるとは特別など

財産を活かす



四イニング目は
志願しての登板
この意欲は、打撃も守りも
全ての技術向上につながる。

袴田羽(1年)



一番バッターとして出塁にこだわり、
課題としていたリードと
盗塁のスタートでは
練習の成果を発揮…

間瀬智(2年)

もう一つは、試合が出来るために、現役部員では足りないところを補ってくださる方々の存在。今回は部員が三名となっても九人で戦うことが出来ている。田中先生をはじめ橘定の先生方の支援。そして、毎回同じではなく、その日に都合がつくOBやOG、時には家族が力をかしてくる。相手がいるだけでも試合は出ず、メンバーがいるだけで出来ない。その両方を可能に出来るからこそ、今、実践経験を積んでいることを忘れずに部活動を行ってほしい。

上手くなることも強くなることも目標だが、その目標に辿りつくためには環境が必要になる。その環境は与えられるものではなく、先輩達が残してくれてきたものに感謝の気持ちを持って活かしたい。自分達でつくっていくもの。それが出来る者が上手くなり、一人一人のそういう姿勢の集まりがチーム力となり、強いチームが出来る。今回の試合も約束していた。活かした財産を皆が次へと繋いだ。部は厳しい状況にあるが、皆の野球に取り組み姿勢を応援し、支えてくれる人はたくさんいる…。



牧田風世(3年)

先日のアメフト体験で肩を痛めたため新入部員の言葉を聞きながらベンチで野球の勉強。「走塁を学んだ」という言葉に、悲願の初ヒットは次戦に持ち越された。



田中先生

これまででも多くの試合で協力してくださってきた田中先生。この日も、先発投手の吉田リリーフの袴田のボールを10イニング受け続けてくれました。その疲労度はかなりのものだろうと思いますが、ありがとうございます。今後よろしくお願いいたします。

この日から、試合前に自分のこの日の課題や目標を全体の場で伝え合うことを始めた。これまでもそれぞれに課題を持ち、時にはこちらから与え、その部分を意識して取り組んできたが、互いに知ることで、その部員のプレーの意図や成長を共有できる。プレーによっては、カバーしたり助けたりすることも出来る。チームスポーツの大切な部分でもあり、続けていきたい…。



吉田侑生(2年)



袴田羽(1年)

高めの速いボールをレフト前ヒット！
得点にはつながらなかったが
初回にチャンスを広げる

2ヶ月半ぶりにキャッチボール そして バッティングピッチャーを...

復帰に向けて 徐々に

橘定スポーツ BaseBall

腰の怪我で野球が出来ず、
秋季大会もその後の練習試合も
出場することは出来なかった和田蒼生。
それでも、放課後の練習には出来る限り参
加し、キャッチボールやノックの力バーなど、
自分のできることでチームをサポートしてき
てくれた。
徐々にプレーできるようになってきたこと
はチームにとって明るいニュース...



和田蒼生 (1年)

令和5年11月19日(日) 橘高校グラウンド

十八日土曜日、十九日日曜日、両日共に十八時半から三時間近く打ち込んだ。照明工事のため、しばらくケージをつつてのバッティング練習が出来なかったが、作業車用の柵や鉄板がほぼ取り除かれ、久しぶりに学校のグラウンドでバッティング練習を行った。バッティングピッチャーはいつも通り中島と林先生だが、この日は和田蒼生が加わった。和田は八月末から腰の怪我でしばらく野球が出来ず、秋季大会もその後の練習試合も出場することは出来なかったが、最近になって、リハビリも兼ねてキャッチボールを始めていた。そして、土日の練習では、二日間共にバッティングピッチャーも務めた。また、ノックも受け、徐々に出来ることを増やしている。バッティングは、腰を強く回すことにはまだ心配があるので行わず、無理のないところから始めている。この時期、無理する必要はないが、一緒にプレーすることが出来るようになったことはチームにとって明るいニュースであり、明るく元気な和田の復帰に部員の気持ちもある。

日曜日は部員六名全員が練習に参加でき、活気のある練習となった。二日間とも二時間程度の練習を予定していたが、打ち込みや投球練習に夢中になって取り組んでいる部員の練習姿勢に時間を忘れていて、大幅に時間が過ぎていた。今年度の公式戦はすべて終わっていて、直近の目標はないのが現実。今、目標にしているのは来年の五月に開幕する選手権大会での優勝。半年先のこととなる。しかし、二年生の間瀬智紘と吉田侑生、四年生の大石優希は、この半年が決して長くはない...むしろあつという間に過ぎていくことを知っている。そして、冬のトレーニングに入る前のボールを使う練習が出来ると今の時期が、どれだけ大事な時間であり、成長できるかもわかっている。土曜日は、間瀬と吉田、和田の三人の参加で、間瀬と吉田は、中島、林、和田の三人のバッティングピッチャーを相手に、ケージで一人300球近く打ち込んだ。この日の夜は気温が低く冷たい風もふき、体感温度はさらに低かったが、熱のこもった打ち込みとなり、打ち込んだ二人は手応えも感じているようだった。六人の努力が報われる日は必ず来る。それは「打てたから報われた...」という結果だけではない。もちろん打てたときに一番実感できるのかもしれない。しかし、打てる打てないという「結果」の前に、自分が歩み、取り組んできた「過程」に、「地道に積み重ねてきて良かった」と思える日が来てくれることを何よりも願っている。一緒に練習していることを覚えておいて欲しい...

夢中になって取り組む部員の練習姿勢に時間を忘れて三時間...
バッティングピッチャーはいつも通り中島と林先生だがこの日は

積み重ねの日々

12月1日(金)から冬季考査となるため、部活動は11月25日(土)の「技術講習会」後から12月5日(火)まで10日ほど停止となる。6日(水)からは冬トレも始まるため、今週一週間、ボールを使った練習を大事にしていきたい。

●11月23日(木)12時~16時 市営桜川球場
「令和5年橘定野球部親睦試合」
橘定野球部(含顧問・コーチ他) 対 OB・教員・家族

●11月25日(土)12時~17時予定 高津高校G
市立高校部活動推進事業「技術講習会」
市大会は開催できず、試合形式での練習を予定

●12月10日(日)15時~17時 新横浜公園野球場
橘定野球部(含OB他) 対 クラーク横浜OBチーム

●12月17日(木)12時~14時 市営小田球場
橘定野球部(含OB他) 対 現在交渉中

令和5年度橘定野球部「親睦」試合

明日11月23日(祝) 12時~16時

試合会場：市営桜川球場

試合開始：12時30分予定 (~15時45分 イニング無制限)

橘定スポーツ BaseBall



「親睦」という名の下剋上対決?!

橘定野球部 対 OB・家族・教員

応援の家族の方々も含めると二十五名近くの仲間が...

親子対決も

イニング無制限で時間いっぱいまで野球を楽しむ一日

「親睦試合」の参加予定メンバー

橘定野球部	OB・家族・教員
大石優希(4年)	岡崎 巧さん(OB)
間瀬智紘(2年)	井上航聖さん(OB)
吉田侑生(2年)	大野希海さん(OB)
和田蒼生(1年)	平井開路さん(OB)
袴田 羽(1年)	大石さん(親御さん)
牧田凧世(3年)	吉田さん(親御さん)
部活体験者	袴田さん(親御さん)
小俣コー子(OB)	大石さん(兄弟)
林先生(顧問)	藤生先生
中島(顧問)	石塚先生

これからも多くの方々に応援していただける橘定野球部であり続けるための一日に...

今月は二十五日の技術講習会での練習が最後となるが、明日の二十三日は楽しみイベントでもある「親睦試合」が行われる。応援の方々も含めると、明日は桜川球場に橘定野球部の仲間が二十五名近く集まって野球を楽しむ。グラウンドも四時間確保することができているので、時間に焦ることなく、イニング無制限で時間いっぱいまで野球を楽しみたい。

二チームに分かれ、橘定野球部側は皆がフル出場となる。OB・家族・教員チームはメンバーを見るにかなりの強者ぞろいではあるが、運動量を考えながら何度でも自由に交代がOKとなる。その中で、出場される親御さんの打席には、野球部としては必ず一度は子どもの登板を考えている。息子、娘との「ガチ対決」が想像できる。そして、もし可能であればその逆もある。マウンドに親御さん、打席に子どもという対決場面も実現させたい。

明日は「親睦」試合であり、みんな野球を楽しむ一日となつてほしい。

後には「親子対決」に限って「親睦」という名の「下剋上対決」になるかもしれない。この日、仕事や都合で参加できないOBやOGもいて、残念ながらいずれも、部員の家族、そして心強いOBやOG、橘定の先生方、他にも多くの方々を支えられてきた橘定野球部。部員がわずか六名しかない野球部にこれだけの人たちが集まってくださることに感謝し、これからも応援するための一日になることを願っている。

夏以来の実戦へ!



親睦試合でも和田蒼生にとっては復帰戦!

23日(祝)10時40分「川崎駅改札前時計台」集合

川崎駅東口バスターミナル「6番乗り場」

10時53分発 川40系統「塩浜営業所」行き

「桜橋」バス停下車 徒歩で球場へ(11時15分着予定)

25日(土)11時40分「武蔵溝口駅改札前」集合

12時までに高津高校に市立定時制4校野球部が集合。毎年恒例の市立高校部活動推進事業である「技術講習会(練習試合)」を実施。

※川崎市大会は中止

月	火	水	木	金	土	日
12月未までの活動予定			11/23 桜川12時00分~ 親睦試合	24 橘G 放課後	25 市立高校部活動推進事業技術講習会 高津G 12時00分~ 練習試合を予定	26 定期考査前活動停止
27 考査前活動停止	28 考査前活動停止	29 考査前活動停止	30 考査前活動停止	12/1 冬季考査①	2 考査中活動停止	3 考査中活動停止
4 冬季考査②	5 冬季考査③	6 冬季考査④ 放課後 橘G	7 薬物乱用防止教室 放課後 橘G	8 答案返却 放課後 橘G	9 日中市内G 予定 又は18時半~ 橘G	10 新横浜G 15時00分~ 練習試合
11 夜7時~ 橘G	12 夜7時~ 橘G	13 OFF	14 夜7時~ 橘G	15 夜7時~ 橘G	16 日中市内G 予定 又は18時半~ 橘G	17 小田G 12時00分~ 練習試合
18 OFF	19 個人面談 夜7時~ 橘G	20 個人面談 夜7時~ 橘G	21 個人面談 夜7時~ 橘G	22 長期練習簿 夜7時~ 橘G	23 部室の大掃除 クリスマス会	24 OFF
25 夜7時~ 橘G	26 日中市内G 打ち納め	27 OFF	28 OFF	29 OFF	30 新年は1月5日(金)スタート予定 OFF	31 OFF

定時制野球への理解と応援

川崎市野球協会川島会長と松本審判指導員のお二人が講師

橘定スポーツ BaseBall

だろでい



川島会長から
「定時制野球の火を消さないで
元氣張って欲しい」と…

令和5年11月25日(土) 高津高校G 技術講習会

この日は、お二人の講師が審判を務めてくださり、「野球部連合チーム六名+中島対顧問チーム」での練習試合となった。人数が少なく寂しい感じもあつたが、参加部員はいつもと変わらぬ全カブレで戦い、成果と課題を自覚する一試合になったことと思う。吉田侑生はレフトへの特大ホームランを含む二安打を放った。二日目の親睦試合でも二本の長打を放ち、自信をもって打席に立ち、練習通りのスウィングができていた。二ヶ月以上怪我の回復に努め、親睦試合から少しずつ実戦にも取り組んでいる和田蒼生も力強い二安打を打ち、久しぶりに手応えを感じている様子だった。林先生は顧問チームで出場し、途中ピッチャーも務め、橘のメンバー全員とも勝負した。大量7点が連合チームに…

林先生は、試験による部活動停止期間を利用して、田中先生をキャッチャーに練習に励むらしい…。さすがっ！

二十五日土曜日、市立高校部活動推進事業「技術講習会」が高津高校のグラウンドで行われた。講師には、今年度も川崎市野球協会の川島会長と松本審判指導員のお二人が来てくださった。数年前まで行われていた「市大会」をこの日に行うこともあるなど、四校が優勝目ざして集まり戦っていたが、今年は三校六名の参加にとどまった。

参加部員はいつもと変わらぬ全カブレで成果と課題を自覚

顧問と対戦

市立高校部活動推進事業「技術講習会」は実戦形式で

前号でOB・OG、家族、橘定の先生方の協力や応援について書きましたが、身近な方々だけではありません。今回の技術講習会もそうですし、今年の夏休みの練習の時に地域の方が差し入れをくださったこともしりました。自分達のことを見てくださっている人たちがいることを忘れず、野球はもちろんのこと、学校生活を大事に過ごすことで応えていきましょう。



林 勇吾先生

橘定の部員との
真剣勝負



大石優希(4年)

しっかりと
振り抜く



袴田 羽(1年)

市立定時制野球部連合+中島 対 顧問チーム

豪快な一発！
レフトオーバーの
特大ホームラン！

復帰二戦目に
快心の二安打で手応えを



和田蒼生(1年)

試合はアイニングを戦い
野球部連合の勝利



吉田侑生(2年)

野球と変わらない戦う姿勢

出来るとか出来ないとか、上手いとか上手くないとか関係ない…

橘定スポーツ BaseBall

忘ろてり



「気持ち」「練習」「戦う姿勢」も
助っ人や人数合わせてはやく
部員の一人として
橘のユニフォームを着ることが出来る
大石先輩のような人で
あって欲しい…

令和5年11月26日(日) 川崎市高等学校定時制バレーボール大会 市立川崎高校アリーナ

自分が加わわることで公式戦に参加できるのであれば力になりたい
勇気と心意気

十二時から夕方まで野球の練習試合で戦い 夜七時からバレー部の練習に

全校生徒の減少で運動部員も少なくなり、チームスポーツにとって厳しい状況となつている橘定。今年度、市内の定時制高校と合同チームで公式戦に出場した野球部だけでなく、他の部でも助っ人を探したり、出場を辞退したりするなどの状況にある。そんな中、大石優希がバレー部に…

橘定には今大石優希先輩のような人が…

全国でも強豪校として知られている男子バレーボール部が、今年度九年連続を目ざした全国大会出場を逃した。そして、部員四名は秋の大会に出場するため、助っ人で出場してくれる生徒を探していた。そんな時、四年のバレー部員と親しい大石優希に声がかかった。引退後も毎日野球部に参加してくれて、大石は快く受け入れて、大会十日ほど前からバレー部の練習に参加し始めた。それでも、野球部の土日の練習や練習試合にも参加し続けた。十一月二十三日は親睦試合の後、二十五日は技術講習会の後、共に十二時から夕方まで試合をした。夜七時からバレー部の練習にも参加していた。大石は「たいへん」とか「疲れた」とか言葉に出さず、やるべきことを決めた。自分が出場できるように、実際に全力で取り組むのが大石優希。



親睦試合で思い出の一打席の後、バレーの練習に…

ピッチャー 大石

本当に楽しませてくれました。私は元々、進学した後に色々なスポーツに触れていきたいと考えていました。そんな所に光太郎からバレー部の話が来たので、参加させてもらいました。一週間ほどですが、練習をして、その中でバレー部の頑張りやバレーの楽しさを知り、その時点で参加して良かったなと思っていました。大会では、練習の成果が出て、サブやレシーブが決まった時もあり、自分としてはとても楽しませてもらいました。結果として負けてしまったのですが、とても良い経験になりました。と同時に、自分が経験した秋大会の不戦敗を光太郎には味わって欲しくはなかったのもあったので、バレー部の力になれて良かったです。



バレーボールの大会後、四年B組の学級通信に次のような感想を寄せてくれた。

冬季考查最終日となる12月6日(水)の放課後から部活動が再開される。練習前に、卒業アルバム用の集合写真撮影があるため、全員、公式ユニフォーム一式を忘れずに持ってきてください。

最後の野球の大会を悔しい不戦敗で終えた大石。自分にバレーボールが出来る出来ないではなく、自分が加わることによってバレー部が大会に参加できるのであれば力になりたいという思いで参加。その中で、他の部の頑張りやそのスポーツの楽しさにもふれ、楽しむことさえ出来たと言う…

全国大会に共に出場した心強い先輩方が引退した昨年の秋から、少人数になつた野球部を先頭に立つってどんなときも前向きに引つ張り続けてきた大石。その姿を知るものならば、この感想にうなづけると思う。応援に行き、大石のユニフォーム姿を見た時、バレー部の一員となつて全力で戦おうとしている、野球の時と変わらぬ表情が印象的だ。もちろん大会であり、部員も顧問も当然勝つことを目標に試合に臨んでいる。それでも、私には、大石が仲間のために自分の意思でコートに立ち、そのことがバレーボール部の大会出場につながっているだけで十分だつた。



「足りないから出て…」と言われて、経験の無いスポーツに、それも公式戦に「良いよ」と出てくれる人はそう簡単にはいない。運動部員であればなおさらそのこの重大さを理解し、真剣に考えれば考えるほど「良いよ」と簡単には言えないもの。大石も最初は迷つたはず。でも、自分自身の秋季大会での経験から、友達のこと、橘定男子バレー部のことを真剣に考えて決断したことだと思ふ。そして、やるからには少しでも力になろうと懸命に練習していたことも顧問の先生から聞いていた。教室での大石との会話や、野球の練習試合後に急いで帰宅し、夜のバレーの練習に学校に向かおうとしている姿からも、助っ人という気もちではなく、バレー部の一人として戦力になりたいという思いが伝わってきた。



大石の勇気と心意気、そして誠実な行動は、野球部にとつても誇らしいことであり、今の橘定には、大石のような存在が必要とされている。この先、皆にもそういう立場になることがあるかもしれない。「やってあげる」ではなく、「やらせて欲しい」という姿勢を持つていて欲しい。出来るとか出来ないとか、上手いとか上手くないとか関係なく、そして、人数合わせで参加するのはなく、「気持ち」「練習」「戦う姿勢」も、部員の一人として橘のユニフォームを着ることが出来る大石優希先輩のような人であつて欲しい…

橘定スポーツ BaseBall

何もしないで得られるものはない 努力したからといって得られるかどうかはわからない それでも 着実に自分の目標や夢に 近づくことはできる



メニューや計画はあっても、強制もノルマもない
あるのは自分自身の達成したい目標やかなえたい夢

令和5年12月6日(水)

冬季考査が終わり、昨日から部活動が再開。間瀬智紘主将の元気の良いかげ声がグラウンドに響き、活気のある再開初日となった。野球部では、冬季トレーニングの始まる日でもあった。このトレーニングが、来春、「新たな自分」に出会えることにつながることは歴代の先輩方が証明してくれている。それは、昨年経験している間瀬も吉田侑生も十分理解し実感しているはず。この冬の取り組みにより、打球の速さも飛距離もボールの速さも格段と上がる。努力を重ねた分だけ必ず成長がある。「重ねる」とは「継続すること。トレーニングを継続することは簡単なことではない。でも、明確な目標を持つてその実現を楽しむにできる人は、自然と継続しているもの。冬トレのメニューや計画はあっても、強制もノルマもない。あるのは、自分自身の達成したい目標やかなえたい夢。何もしないで得られるものはない。努力したからといって得られるかどうかはわからない。それでも着実に自分の目標や夢に近づくことはできる。」

冬トレ始まる

目標を持って継続できる者は来春「新たな自分」に出会える
強制もノルマもないあるのは自分自身の達成したい目標やかなえたい夢

12月の今後の週末の練習試合・練習の予定 (改訂)

日	活動内容	場所	時間	対戦相手 他
9 土	練習	市営御幸球場	◎11:15集合 12:00~14:00	打撃練習
10 日	練習試合	新横浜公園野球場 横浜市港北区小机町3300	◎14:00集合 15:00~17:00	対 クラーク横浜OB
16 土	練習	市内球場予定(キャンセル待ち)	日中	打撃練習
17 日	練習試合	市営小田球場	◎11:00集合 12:00~14:00	対 日々輝学園横浜校 (交渉中)
23 土	練習試合予定	市内球場予定(キャンセル待ち)	日中	対 橘定野球部OB
24 日	OFF			

気温は低いものの冬トレは大量の汗もかく。タオルと着替えを必ず用意して部活動に臨んで欲しい。



卒業まで登校日数は30日を切っている…

昨日は、大石優希前主将の卒業アルバム用の野球部の写真撮影が行われた。公式ユニフォームを着た全員で一枚は、大石が毎日白球を追いかけた夜のナイターの灯った橘のグラウンドで撮られた。大石が卒業まで学校に登校する日は三十日を切っている…。引退後も毎日部活動に参加してきていた。大石が昨日から始まったトレーニングや打ち込みでも、新入部員の牧田凧世に積極的にアドバイスを送ってくれていた。卒業まで「完全燃焼」を貫く。



努力を重ねた分だけ必ず成長がある

毎年取り組んでいる橘定野球部の基本的な「冬のトレーニングメニュー」

① ランニング			
② ダッシュ(盗塁)	壘間		10本
③ 小刻み10秒→ジャンプ10回→小刻み10秒→ジャンプ10回	30m	復路で左右ジャンプ10回+腕立て5回~	2本
④ もも上げ10回→両足跳び→もも上げ10回→両足跳び	30m	復路で左右ジャンプ10回+腕立て5回~	2本
⑤ 片足バランス跳び	30m	復路で左右ジャンプ10回+腕立て5回~	2本
⑥ 斜め背走 右 → 左 → 右 → 左	30m	復路で左右ジャンプ10回+腕立て5回~	2本
⑦ ランジ(重心落とし)	30m	復路で左右ジャンプ10回+腕立て5回~	2本
⑧ バック走	30m	復路で左右ジャンプ10回+腕立て5回~	2本
⑨ ラダー 6種類×5本	8m		15本
⑩ 腹筋2種類×15回~			30回以上
⑪ 3~10kgメディシンボール投げ			10本
⑫ ペッパー			20球
⑬ ティー・素振り・ノック等	各自強化メニュー		

冬のトレーニングと振り込みでさらなる成長が期待できる袴田羽

好投手を相手に積極的な打撃

好球必打

橘定スポーツ BaseBall

はろてり

メンバーが足りず、本来ならば試合は難しいところ。しかし、足りないところはOBや教員の協力も得ながら実戦経験を積み重ねていくのが橘定野球部。たくさんの方々の支えや応援をいただきながら活動できていることを試合の度に実感する…。



かつて、県大会決勝戦で何度も敗ってきたが、ラック横浜高校のOBチームムトーAVIOTIAとの練習試合。技術もチームワークもすばらしく、徐々に倒されたが、好投手を相手に貴重な実戦経験を積むことができた。

令和5年12月10日(日) 新横浜公園野球場

大事なことは「こうなりたい」という思いを持ち続けることができるかどうか

目標をきかせてる

目ざすところへ進んでいくための努力の積み重ねができるために

九日・十日の土日は、予定通り校外での活動となった。この時期、夜のグラウンドの気温は低く練習内容は限られ、トレーニングメニューが中心となる。気温をはじめ天候にもよるが、土日は出来るだけ日中のグラウンドを確保し、ボールを使った練習もしていきたい…。

土曜日は御幸球場で、顧問の中島、林、両バッテリー、クビツチャーを相手に打ち込んだ。学校のグラウンドでケージをつくって打つことはできるがグラウンドのように打球の行方や飛距離まではわからない。手応えなどで成長を感じることができても、やはりグラウンドで打つことでより客観的に自分の今の実力を実感することができる。さらに、仲間の成長度もわかりやすく、大きな刺激を受けることにもつながる…。

今年も、部員一人一人が来春三月末までのバットスイングの目標を立てた。

間瀬智紘	25000振
吉田侑生	10000振
袴田羽	15000振
和田蒼生	10000振
牧田風世	15000振

目標の数をクリアすることが目的ではない。たとえその数に達することができなくても、目標を立てることで、そこに辿りつくための努力の積み重ねができる。そして、その積み重ねが、自信と技術の向上につながる。「上手くなりたい」「強くなりたい」「できるようなりたい」「大事なことは、こうなりたい…。」という思いを持ち続けることができるかどうか。それは野球に限ったことではなく、どんなことでも同じだと思おう。

「こうなりたい」という自分の思いを持つている人は必ず成長できる。持つているだけでなく、それを大事に出来る人は、「なりたい」から「なれた」という自分に出会える日きっとかえる…。



この日の試合も、田中先生とOBの小侯コーチに協力していただきました。ありがとうございました。



冬季トレーニングと振り込みの日々が始まった…

何よりもその成長の過程が大事

中学では野球をしていなかった二人が今のスイングに…

橘定スポーツ BaseBall

たろでい

取り組む姿勢そして「打ちたい」「全国の舞台で戦いたい」という高い意識

姿勢と意識

間瀬智紘・吉田侑生の成長は単に練習してきたからだけではない

目標や目的だけでなく、取り組む姿勢や意識も共有できる集団の中に入れば自然と楽しくなってくる



間瀬智紘 主将

12月16日(土) 18時30分～ 橘高校グラウンド

バット1000スイングDAY

12月17日(日) 12時00分～ 市営小田球場

練習試合 対日々輝学園横浜校

登戸10:06→宿河原10:07→武蔵溝ノ口10:13→鹿島田10:27
→尻手(3番線に乗り換え)10:33→小田栄10:38着→徒歩
→小田球場 10:50頃着 到着後準備し球場外でアップ

二回目の冬を迎えた二年生の間瀬智紘主将と吉田侑生。二人のスイングは一年前のものとは全く違うものになっている。一年間の日々の取り組みがあれば当然のことだとは思いますが、何よりもその成長の過程が大事であり、二人は大石優希と共に、その過程の中で、有意義な時間を費やしてきた。

わすか三人で地道に努力を続けた昨冬から今春までの時間、そして、二年生になってから市内の市立定時制高校と合同チームとなつても自分達の取り組み姿勢を変えずにここまで取り組んできた時間が、今のスイングにつながっている。中学では野球をしていなかった二人、間瀬智紘は高校から野球を始めています。その二人が今のバツティン

グができるまでには、単に練習だけではなく、野球に取り組む姿勢、そして「打ちたい」「勝ちたい」「全国の舞台で戦いたい」という高い意識があつてのこと。その姿勢や意識は、一年生の袴田羽、和田蒼生にもある。そして、入部してから二ヶ月ほどが経った牧田風世は今、大石を含めて五人からそのことをひしひしと感じていると思う…。

私たちが常々話している「楽しくなければ強くなれない」というのは、単に野球を楽しむとか、楽しくやろうというだけでは、この意識も共有できる集団の中にいなければ自然と楽しくな

明日16日(土)は、日中のグラウンドが確保できなかったため、夜の橘Gで恒例のバットを振り込む一日となる。

私たちが常々話している「楽しくなければ強くなれない」というのは、単に野球を楽しむとか、楽しくやろうというだけでは、この意識も共有できる集団の中にいなければ自然と楽しくな

りつづために自分から意識して行動し、互いにそのことを感じ合い、目標や目的だけでなく、取り組む姿勢や意識も共有できる集団の中にいれば自然と楽しくな

私たちが常々話している「楽しくなければ強くなれない」というのは、単に野球を楽しむとか、楽しくやろうというだけでは、この意識も共有できる集団の中にいれば自然と楽しくな

私たちが常々話している「楽しくなければ強くなれない」というのは、単に野球を楽しむとか、楽しくやろうというだけでは、この意識も共有できる集団の中にいれば自然と楽しくな



牧田風世



和田蒼生



吉田侑生

たとえ4イニングでもOBや先生方の協力を得ながら実戦を積み続ける

12月10日(日) 新横浜公園野球場
GAVIOTA 3431 11
橘定野球部 0010 1

更なる成長が待っている…



間瀬智紘



袴田羽

「一つ一つのトレーニングメニューが体に効果があるように、林先生が細かく方法や強度について指導してくれている。冬の夜の寒空の下で、大量の汗を流している姿を見ると、効果のある取り組みができていることがわかる…」

1アウト満塁のチャンスに2-2から1球ファールでねばり速球にくらいつく

牧田風世ついに初打点

七番レフト なぎせ(3年)

橘定スポーツ BaseBall

ほうでい



令和5年12月17日(日) 市営小田球場

特別な一打

初ヒットは持ち越しとなったがチームに大事な一点をもたらす
実戦で練習の成果を実感したことは自信となり可能性を...

十月に入部した牧田風世はバットの持ち方も知らなかった。野球初心者。チャンスの場面で放った一打は初打点となる。牧田にとって特別な一打。

5点を追う最終回の七回表。この回先頭の三番和田蒼生が四球で出塁すると、続く四番の吉田侑生の内野安打で二死一塁二塁とチャンスをつくる。この日助っ人でチームに協力してくれた奥山も四球を選んで満塁。ここでもう一人の助っ人横山。2ストライクと追い込まれてからの3球目。高めのストリートにセンターター返し。ミートした打球は1点を返す。横山のガッツポーズにベンチが盛り上がる。

ダイヤモンドを駆けまわリホームにかえる牧田風世



今週は各クラスでの面談期間。学校生活をふり返る大事な時間。担任の先生とゆっくり話してきてください。



2月17日(日) 市営小田球場
橘定野球部 0000003 3
日々輝横浜 020120x 5

目をしっかりと叩く。打球はセカンド前に転がり、吉田が2点目のホームを踏む。ついに牧田が初打点を挙げた。十月に入部した牧田はバットの持ち方も知らなかった。野球初心者。これまで数試合の中で何としても今年中にヒットを打ちたいと意気込んでいた牧田。初ヒットを放つことが出来なかつた悔しさはあるが、自分分がチームに得点をもたらしたということであ

ライトオバの2ベースヒットとレフト前ヒットを放ち、ブレイクでチームを引張る...



一番 センター 間瀬智紘

り、チームでの戦いに貢献した特別な一打、打点となった。初ヒットは次戦の楽しみに...。この試合、先頭バッターの間瀬智紘主将は、右中間への2ベースヒットとレフト前ヒットの二本を放ち、ブレイクでチームを引張った。夏以降、先発する機会の増えた吉田は、ここぞという場面では三振を奪いながら打たせて取る投球でアイニングをねばり強く投げた。制球力がついてきて投球数も減ってきている。これも実戦経験を積むことで着実に成長している証。守りでは、サードの和田蒼生とファーストの袴田羽が数多く実戦経験を積むことが出来た。そんな練習でノックを受けても実戦の中で捕球す

る打球や送球の経験にはかなわない。ショートに入った横山も、前進守備から素早いバツクホームで三塁ランナーを刺し、間瀬もセンター前に上がった打球に迷わずスタライクを切り、ランニングキャッチ。これまで試合になるどこに上がった打球はワンバウンドで処理していた。試合前、前進の打球についてエラーを恐れずチャレンジすることを確認していき、試みるチャンスがきて、実際にキャッチすることが出来た。練習で出来ていないことは実戦の中で出来ないが、実戦の中で出来たことは自信となり、自分の可能性を広げる。そして、新たなステップにつながる...



三番 サード 和田蒼生



四番 ピッチャー 吉田侑生

実戦経験を積む



八番 セカンド 大石優希



二番 ファースト 袴田羽